



# せいひ会だより

2008年(平成20年)  
5月1日発行  
<第97号>  
社会福祉法人せいひ会  
http://www.seihikai.jp/



## さまざまのこと思い出す桜かな (芭蕉)

平凡な句

その平凡は、計り知れない奥行きがある

さまざまなこと

文字通り「さまざま」だ

「あの日、あの人と見た桜」と思い出せば、ロマンチックな世界が広がり  
「去る人の後ろ姿に散る桜」と思い出せば、しんみりとした世界が流れ込む  
胸に秘めた思い出が、この満開の桜と共にあふれ出してしまおうだろうか

## 4月のできごと

- 1日 新入社員・歓迎！！
- 1日 ～お花見(各事業所) 満開の桜！！
- 2・16日 書道教室(元亀の里)
- 8日 花祭り(通所・丘の家) お寺さんへ
- 10・24日 書道教室(風和の里)
- 12日 誕生会(通所・元亀の里)
- 14日 陶芸教室(通所)

## 5月の行事

- 1日 ～菖蒲湯週間 鯉のぼりも泳いでます！
- 2日 ～鯉のぼり観賞ドライブ(風和の里)
- 7・21日 書道教室(元亀の里)
- 8・22日 書道教室(風和の里)
- 10日 誕生会(通所・元亀の里)
- 11・14日 母の日(各事業所) 14日は丘の家
- 11日 中山郷つつじ祭り(中山公園にて地域の方々と)
- 12日 陶芸教室(通所)

## ★お誕生日おめでとうございます★



古賀勝美様

山ロマツ様

若浦末廣様

福田シズ様

谷川エツ様

檀浦リエ様

楠本徳見様

森コウ様

平内重吉様

石本シズエ様

今回は元亀の里・森コウ様にお話を伺いました。

昭和8年、佐世保市に8人兄妹の一人として生まれた。周りには男の子が多く、当時はベースボールが流行っており一緒に走り回っていた。しかし「運動音痴でね、運動会ではいつもビリやった」そうだ。正月はおばあさんから貰った糺や下駄を履いて遊ぶのが楽しみだったとのこと。また、人形遊びにも夢中になっておられたようで、人形の洋服を自分で作って着せ替えたりと女の子らしい一面も伺えた。

27歳で6歳年上のご主人と結婚され、2人の男の子に恵まれた。結婚前は真珠加工の仕事をなさっていたが、結婚後は専業主婦として家庭を支えていた。趣味は洋裁や裁縫で、着るものをいろいろと作っていたそうだ。また庭の花木の手入れをすることが楽しみだったようで、「椿・つつじ・フヨウなどきれいな花が咲くのをみるのが好きでね、心が落ち着くとよ。植木の刈り込み方とか自分で適当にしてたけど、周りから見たら変な形やったやろうね。それでも手入れを夢中ですればすっきりになるとよ。」と楽しそうに話された。ご主人のことを聞くと、「真面目な働き者で、私にも子供達にも怒ったりしない優しい人よ。」と照れくさそうだった。

今の楽しみを尋ねると、「音楽を聴くのが楽しみで、特に徳永英明の歌が好きとよ。あの人の声は優しい声で、聴いていたら気が落ち着くと。新しいアルバムが出るとって女の人の曲を歌っとるのがあるとけど、今井美紀のプライドとか松任谷由美の曲とかいいのが入るとよ」と熱心に話され、居室で歌を聴きながら和まれている姿が印象的だった。

60歳頃の出来事で、タクシー乗り場で見知らぬ人に「笑って暮した方がいいですよ」と話しかけられたそうだ。同時期に息子さんから同じようなことを言われたそうで、それ以降は笑うように心掛けているとのこと。

今のご時勢や若い人に一言ないですかとの問いに「最近は親子の事件が多いみたい。もっと親を大切にしたい。」と話されていた。また「職員さんを見てると、一人ひとり個性があって良いところもある。でも、皆良くしてくれるから感謝しているよ。」と人間観察を楽しんでおられるようだった。

いつも丁寧な話し調でニコニコとされ、車椅子をご自分で操作できるようになられた時には、「見て下さい、上手になったでしょ。自分で好きなところに行けるから嬉しい。」と無邪気な一面も見せてくれる森さんでした。

笑顔で周りを明るくしてください！お誕生日おめでとうございます。

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

## うたの時間

一面の  
蓮花畑に

蝶が舞う

谷川エツ

小春日や  
窓ガラスも

春告げる

本本誠一

鯉のぼり  
子供が喜ぶ

武者姿

茅原武次

鳥一羽  
群れからはぐれ

ゆつくりと

ねぐらを探す

春の夕暮れ

富安マサエ

芭蕉咲く  
朝の歩道の

乳母車

郡榮子

青空に  
からす飛び交う

今日の空

酒井ミネ

流れ雲  
川面を渡る

陽炎の

春より先の

月の夕影

平田イエ



GH爽月の作品

ここに載せられなかった作品も  
たくさんございます。  
ぜひ、見に来て下さい。

神近ツタ  
苦は種 楽は種

元龜神近ツタ

喜代子  
苦は種 楽は種

風和田村喜代子

江尻邦  
平和

ご家族江尻邦

村上万作  
春風

翠風村上万作

山川由喜男  
さくら見

元龜山川由喜男

甲アキ  
高嶺

風和田中アキ

河野ミエ  
我以外 皆師也

風和河野ミエ

岩崎和子  
天地

風和岩崎和子

今井サヨ  
一つ緒も

風和今井サヨ

谷川エツ  
長平安

風和谷川エツ

## \*お花見\*

今月の表紙を飾った見事な桜。西彼町の生長の家本山の桜です。各事業所、別々の場所に出掛けたようですが、その中でもベスト1の桜のように思います。生長の家に出掛けたのは元龜の里とグループホームの皆さん。通所と丘の家の方は、四本堂公園に、風和の里は八ヶ岳公園に出かけました。今年はお天気恵まれて、気持ち良い春の香りを楽しめました。



## 元龜の里小学校入学式

4月は新しい年度の始まり。新がつく行事もたくさんありますね。真新しいランドセルをかった小学生が、楽しそうに登校している姿が目に見えます。

元龜の里では、お雛様に続いて顔出し看板第2弾を作っていました。「それでは、元龜の里小学校の入学式を開式いたします。一年生、起立!!」



## ～花まつり～

4月8日は「灌仏会(かんぶつえ)」、つまり「花まつり」の日です。仏教の開祖・釈迦の誕生日で、各地の寺院では子どもたちが参加しての行事が行われるところもあるようです。そしてこの行事に欠かせないのが甘茶。入り口に花で飾られた小堂「花御堂」が置かれ、中には鮮やかな黄褐色の甘茶の入った桶があり、中央には右手を挙げた釈迦仏が置かれ、参拝者はひしゃくで甘茶をかけて手を合わせます。また、小堂の横にも参拝者のために振る舞い用の甘茶が置いてあり、皆さん、孫ひ孫の健やかな成長を祈りつつ、甘茶を頂いてきたようです。

つわ、たけのこ、ふき、よもぎ・・・旬の食材ざっくざく! 「つわを剥きたいから、採ってきて!!」と言う利用者さん。「え? 食べたいからじゃなくて、剥きたいから!」この時期になると、道路際につわが見えるとうずうずするそうです。お花見のドライブも桜よりつわ探し! つわを剥く慣れた手つきに若い職員は見とれてました。

## 愛の手作り劇場



## ケアマネの独り言

### サクラモリ

この前、なにげにTVを観ていたところ「桜守」(たぶん、世界中に一人!?)と呼ばれる80歳くらいの自称「単なる植木職人」の特集がありました。その高齢者がカッコいいのなんのって!! 本人曰く「単なる植木職人として何十年も診てきて今でも世界中の桜を診て回っている。一番嫌いな桜はソメイヨシノ」とのこと。何でだろうとその後も観ていたら「今はどこに行ってもソメイヨシノばかり。昔はその土地、土地にいろんな種類の桜があり、今にも枯れそうな木であっても枝に花をつけていた。枯れそうな木が一生懸命『花』をつけるから日本人は桜が好きだった。今は、見た目が派手なソメイヨシノがもてはやされて全国に広まってしまった。本来の美を今の人達は忘れてしまっている」と話した。正直「カッコいい」と思ったのと同時にハッとさせられた。確かに今の私達は見た目にはキレイなものだけに目を向けていないか? 桜だけではなく日常においても本来の美を見落としていないか。「人間関係においても『本来の姿』を見落とすことのないよう、見た目だけで判断しないように気をつけたい」と考えさせられた。番組の最後にその桜守が「桜はな、蕾の時は『お天とうさん、栄養をくださいな』と言って上を向いているが、咲いたら『お天とうさん、ありがとうございました』と全部、頭(コウベ)を垂れるんや」と話していた。ものすごく深い言葉に思わず泣きそうになったひと月でした。(敏)

## 編集後記

最近、30℃近い真夏日のような日があったようですね。だんだんと風も和やかになり、春からもう夏に向かって動き出したように感じます。毎日通る通勤路も菜の花が彩り、見事な桜に感動していたら、つじが咲いて・・・と日々姿を変えています。これからは実のなる木の成長が楽しみです。トマトやキュウリの夏野菜を植えて育てるのもいいですね。風和の里の利用者様も早速植えているようでした。雨はあんまり好きではありませんが、これから5月、6月と恵みの雨がたくさん降って「手作り劇場」が賑やかにお届けできたらと願っています。(佳)